

「いきいきランドぽんぽ館再整備に係るサウンディング型市場調査」に係る 調査結果について

戸沢村（以下、「本村」という。）にて「いきいきランドぽんぽ館再整備に係るサウンディング型市場調査」を実施し、民間事業者と対話を行いましたので、その結果を公表します。

1 スケジュール

No	内容	時期
1	サウンディング実施要領の公表	2024 年 12 月 6 日(金)
2	サウンディング参加申込期限	2025 年 1 月 10 日(金)
3	サウンディング実施日時・場所の連絡	2025 年 1 月中旬～31 日(金)
4	サウンディングの実施 ※対面 or オンライン	(1) 対面の場合 ※現地見学会同時開催 ① 2025 年 2 月 12 日(水) ② 2025 年 2 月 26 日(水) (2) オンラインの場合 ③ 2025 年 2 月 13 日(木) ④ 2025 年 2 月 14 日(金) ⑤ 2025 年 2 月 27 日(木) ⑥ 2025 年 2 月 28 日(金)
5	サウンディング結果概要の公表	2025 年 3 月 7 日(金)

2 参加者

参加申込のあった 8 者と対話を実施しました。

3 調査結果の概要

本村が提案を求めた (1) ～ (7) の項目について、下記ご意見、ご提案を頂きました。

(1) 本事業を実施する上でのアイデア

- ・ 高齢者向けの健康運動器具導入や健康増進プログラムの拡充。
- ・ プールでの親子水泳教室や、小さな子供向けの水遊び場の設置。
- ・ 地元特産品の販売強化や、東北各地の特産品を取り扱う観光促進施策。
- ・ 室内アスレチックや屋内遊戯施設の導入。
- ・ キャンプ場整備、天体観測、郷土料理の調理体験、雪遊びなどのアクティビティ充実。
- ・ 外国人観光客や居住者向けの交流スペース設置。

- ・ 友好都市との交流拠点化や、長期休暇中の外国人向けトレッキング拠点の提供。
- ・ ドッグラン、ペット用温泉、農業体験、バーベキューエリアの設置。
- ・ ドローン飛行エリアの設置。
- ・ 観光情報センターの設置とデジタルマーケティング活用。
- ・ 夏季の暑さ対策として屋内遊戯施設の設置。

(2) 施設運営について

- ・ 地元企業による管理が望ましい。
- ・ 燃料費の高騰を考慮し、運営効率向上が必要。
- ・ 施設のターゲットを村民向けか観光客向けか明確化。
- ・ 「DBO 方式」「PFI 方式」などの導入検討。
- ・ 地域と連携した長期的な運営が重要。
- ・ 地元の食材や伝統工芸を取り入れた施設運営。
- ・ 住民負担を抑えつつ、サステナブルな運営を目指す。

(3) 本事業の抱える課題についての考え方

- ・ 冬季の積雪対策、光熱費の増加、設備の老朽化が懸念される。
- ・ 空調や給湯設備のエネルギー効率化による運営コスト削減が必要。
- ・ 屋内プールの活用方法の見直し（学校授業や子供向け水遊び場など）。
- ・ 駐車場の拡張や、キッズパークの活用検討。
- ・ 事業コンセプトの明確化と利用者増加の施策が必要。

(4) 本事業を実施するにあたり考えられるリスク、課題等

- ・ 物価変動によるコスト増や、施設修繕費の増加。
- ・ 交通事情の変化による立地条件の悪化。
- ・ 施設の方向性が不明確であることが事業リスクになる。
- ・ 観光客の増加による地元住民の利便性低下を防ぐ対策が必要。

(5) 事業提案に係る村に対する要望

- ・ 事業推進のためのリーダーシップを持つ人材の確保。
- ・ 施設の方向性（村民向けか観光向けか）の明確化。
- ・ 改修費用等の負担
- ・ 修繕計画や改修費用の透明性確保。
- ・ 地元企業との連携機会の創出。
- ・ 参加資格要件のバランス調整。

(6) 事業参入可能性

- ・ 指定管理、DBO、PFI 方式など、多様な形式での参画可能性あり。

- ・ 単独参画は難しく、グループ参画を検討。
- ・ 施設方針の決定後に具体的な参入を検討する意向。
- ・ 地元企業との連携があれば参画しやすい。

(7) その他ご意見等

- ・ 本事業単体ではなく、村全体の観光戦略の中での位置づけが重要。
- ・ マーケティングコンサルタントや研究機関との連携も検討。
- ・ 施設の外部発信が不足しており、PR 施策の強化が必要。

4 調査結果を踏まえた今後の方針

本調査結果を踏まえ、いきいきランドぽんぽ館の再整備および運営等について検討していく。